



イーレックス株式会社

第27期 定時株主総会

2025年6月24日



A horizontal teal banner with a gradient from dark to light teal, containing the Japanese text '進行予定' in white.

進行予定

The background consists of a 3D rendering of the Earth on the left side, showing the Americas and the Pacific Ocean. On the right side, there is a light gray silhouette map of the Asia-Pacific region. A horizontal teal band spans across the middle of the image, containing the main title.

議決権の状況の報告

A horizontal teal banner with a gradient from dark to light teal, containing the title text in white.

監查報告



The background of the slide is a composite image. On the left, a portion of the Earth is shown, highlighting the Pacific Ocean and parts of Asia and Australia. On the right, a light gray silhouette map of the region is overlaid on a white background. A teal horizontal band is positioned behind the main title.

報告事項

- 招集通知 12ページから42ページまで
- 交付書面非記載事項 1ページから42ページまで

脱炭素化に向けたグローバルな潮流は継続

国内

政府 第7次エネルギー基本計画の制定

環境 再エネに対する需要家ニーズの多様化

東南 アジア

政府 **ベトナム** クリーンエネルギーに関する日越政府間合意
カンボジア 水力・バイオマス発電における政府保証

環境 経済成長に伴う電力の需要増大
エネルギー自給率の低下

ソリューション
としての
脱炭素事業

2023年度の経営課題を踏まえて事業構造改革を断行

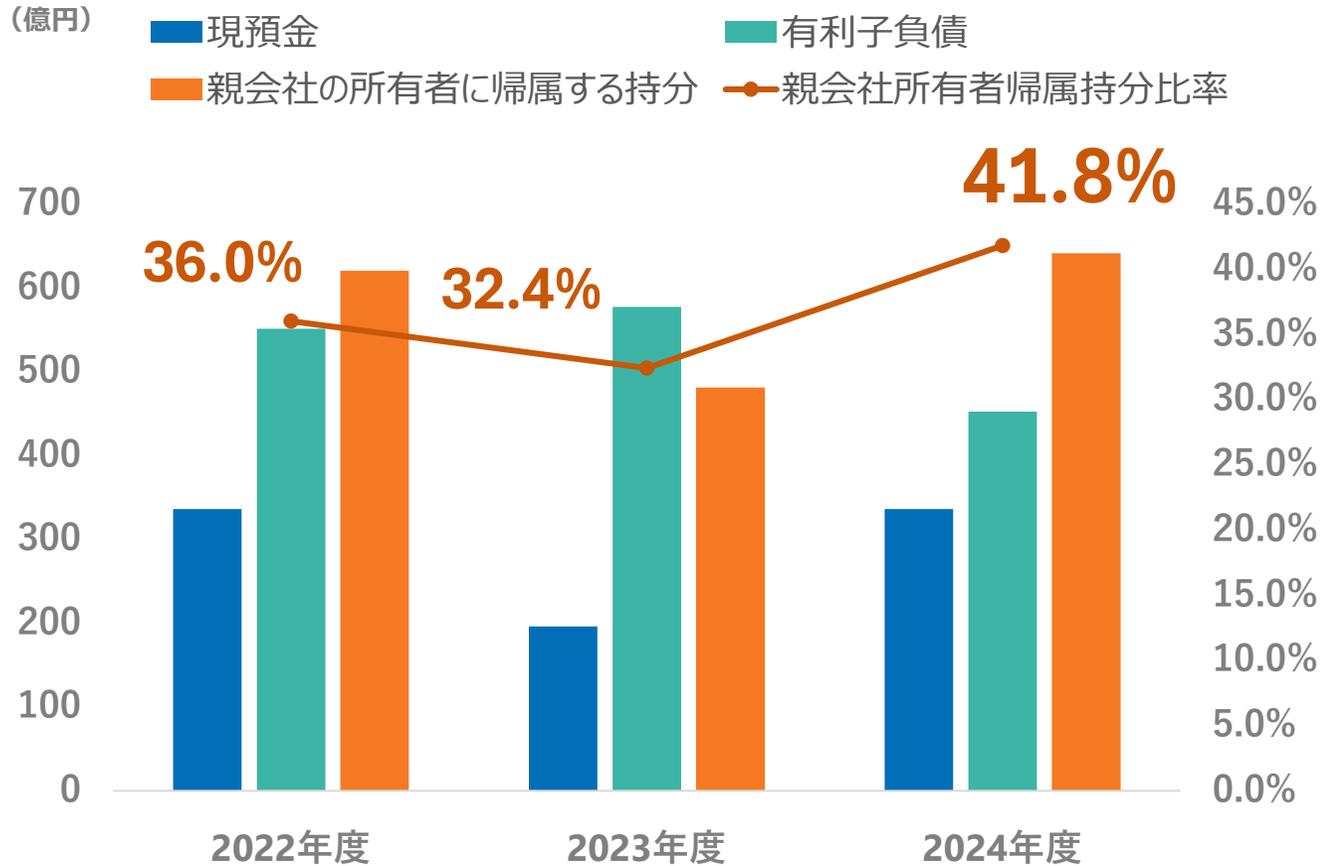
小売調達戦略の
変更による
需給バランス最適化

組織再編による
リスク管理体制の
確立

第三者割当増資に
よる財務体質の
改善・強化

不採算事業の見直し

事業構造改革により更なる成長投資を実現可能な体制へ



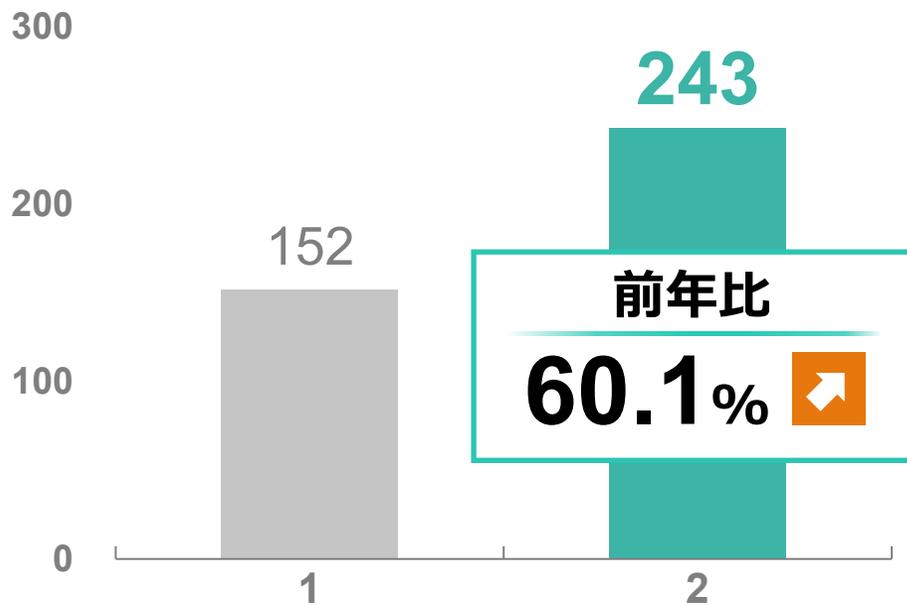
格付の推移

格付公表日	格付	格付の見通し
2025年4月25日	A-	安定的
2024年2月19日	A-	ネガティブ
2022年4月25日	A-	安定的

業績回復と第三者割当増資により財務体質が大幅に改善

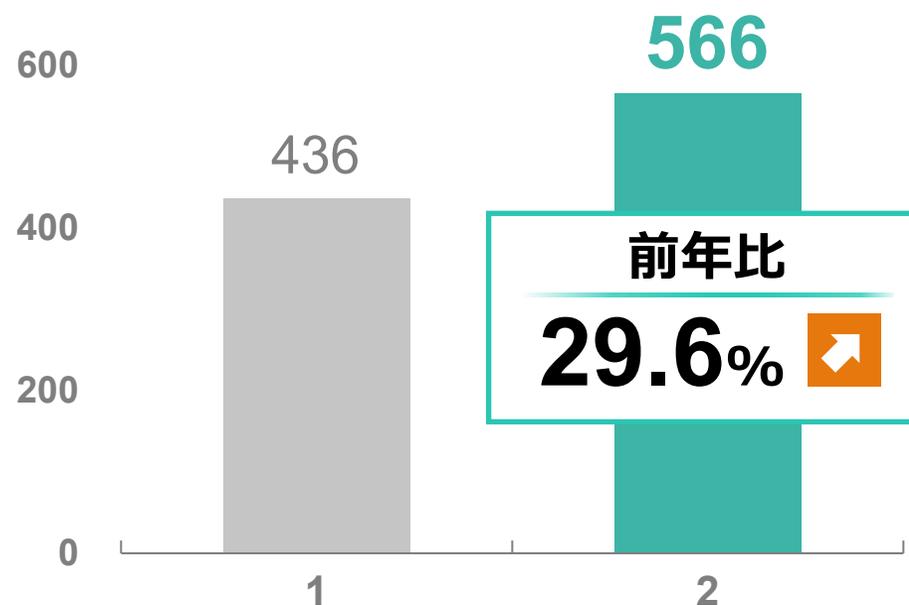
販売電力量

(万MWh)



売上高

(億円)



先駆的なプランの販売拡大により販売電力量、売上高ともに増加

販売電力量

(万MWh)

200

100

0

138

135

前年比

2.1% ↓

1

2

売上高

(億円)

400

200

0

414

447

前年比

7.8% ↑

1

2

使用量増加に伴う販売単価の上昇により売上高は増加

発電所名	2024年度 発電量 (GWh)		
	計画	実績	計画比
佐伯	314	333	106.3%
豊前	497	501	100.8%
大船渡	522	450	86.2%
中城	323	323	100.0%
糸魚川	417	187	45.0%
土佐	0	0	-

国内発電所における燃料転換技術・運用の知見を海外で活用

2024年度 連結実績概要

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	前年比
売上高	2,449	1,712	737 
営業利益	▲219	71	290 
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲213	21	234 
資産	1,486	1,533	47 
負債	930	809	121 
資本	556	724	168 

全体戦略

- 積極的な販売拡大施策と機動的な調達をさらに強化
- 機動的な料金プラン開発と販売チャネルへの展開

高圧

- ヘッジ効果のあるソリューションの開発と販路全般を通じた提案力の向上
- 直販強化による更なる販売電力量の増加

低圧

- 新規販売パートナーの開拓と既存パートナーとの連携
- 顧客接点の増加と顧客体験向上に向けた取り組み
(アプリ開発、付帯サービス等)

01 ハウジャン バイオマス発電所

- ベトナム初となる商用バイオマス発電所（20MW）、当社としても海外第1号案件
- 2025年4月よりハウジャン省にて商業運転を開始。2025年4月竣工式実施
- 環境省の令和4年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）資金支援事業のうち設備補助事業※1」に採択※2

工場全景



竣工式



燃料運搬の様子



出資会社	イーレックス(株) 51%
発電出力	20MW
燃料	もみ殻（13万t/年）

※1 優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証（MRV）を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCMを通じて我が国およびパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。優れた脱炭素技術等に対する初期投資費用の2分の1を上限として補助を行う。なお、本事業はベトナム政府と日本政府の協力の下、実施されている。

※2 2022年7月1日付「令和4年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の公募における第一回採択案件の決定について」にて公表。

02 トウエンクアン ペレット工場

- 2025年3月よりトウエンクアン省にてFSC認証を受けた木質ペレットの製造を開始
- 本工場の稼働により、脱炭素および周辺地域の雇用創出に貢献
- 製造した木質ペレットは日本などへ輸出予定

工場全景



ペレット製造の様子



出資会社 イーレックス(株) 97%

生産能力 15万 t / 年

原料 木材・木質残渣等

製造品



03 新設バイオマス発電

- トウエンクアン省およびイエンバイ省にて各50MWのバイオマス発電所を建設中
- 各発電所は2027年末運転開始予定
- 環境省の令和5年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）資金支援事業のうち設備補助事業※1」に採択※2

トウエンクアンバイオマス発電所地鎮祭



イエンバイバイオマス発電所地鎮祭

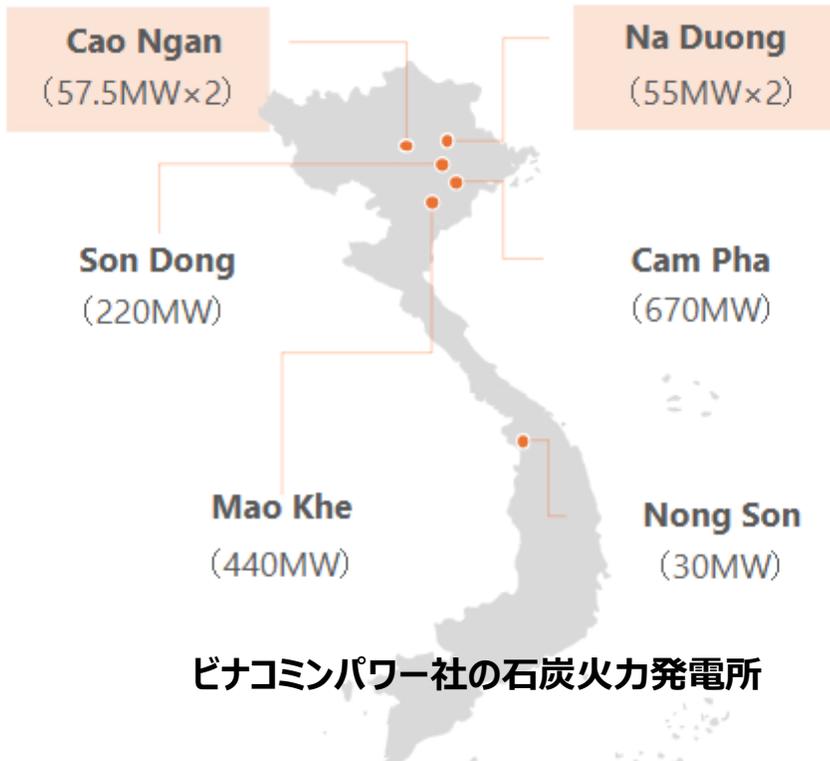


※1 優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証（MRV）を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCMを通じて我が国およびパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。優れた脱炭素技術等に対する初期投資費用の2分の1を上限として補助を行う。なお、本事業はベトナム政府と日本政府の協力の下、実施されている。

※2 2024年3月22日付「令和5年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」における採択について」にて公表。

04 石炭火力への混焼（フューエルコンバージョン）

- ベトナムの安価な国内賦存エネルギーであるバイオマスと輸入燃料を置き換え
- ベトナム政府は、稼働から20年以上の石炭火力でバイオマス等混焼開始の方針
- 2025年夏よりNa Duong発電所とCao Ngan発電所にてバイオマス混焼実証予定
- 経済産業省の補助金に採択※。石炭火力発電所でのバイオマス混焼実証に活用



05 パートナーシップ（業務提携）

PECC2と契約締結

ハウジャンバイオマス発電所のプロジェクト開発、建設工事を通じて、共同出資会社である Power Engineering Consulting Joint Stock Company 2（ベトナム電力公社の子会社、「PECC2」）と2025年4月24日付でベトナムにおける事業推進を目的とした業務提携契約を締結

主な契約内容

1. バイオマス発電所新設案件の共同検討
2. 石炭火力発電所のフューエルコンバージョンの推進
3. バイオマス燃料の調査検討
4. 電力制度に関わる検討や提言
5. バイオマス発電の技術・運営能力の向上
6. 事業会社などへの共同出資の検討



01 水力発電

- 80MWの水力発電所を建設中
- 35年間の電力売買契約（take or pay）をカンボジア電力公社と締結済
- 建設工事：ダム本体の盛り立ておよびタービン設備据付けのための掘削工事を実施中
- 2026年度上期に工事を完了後、試運転を半年間実施予定
- 下流部における第2水力発電所の開発についても協議中

ダム建設工事

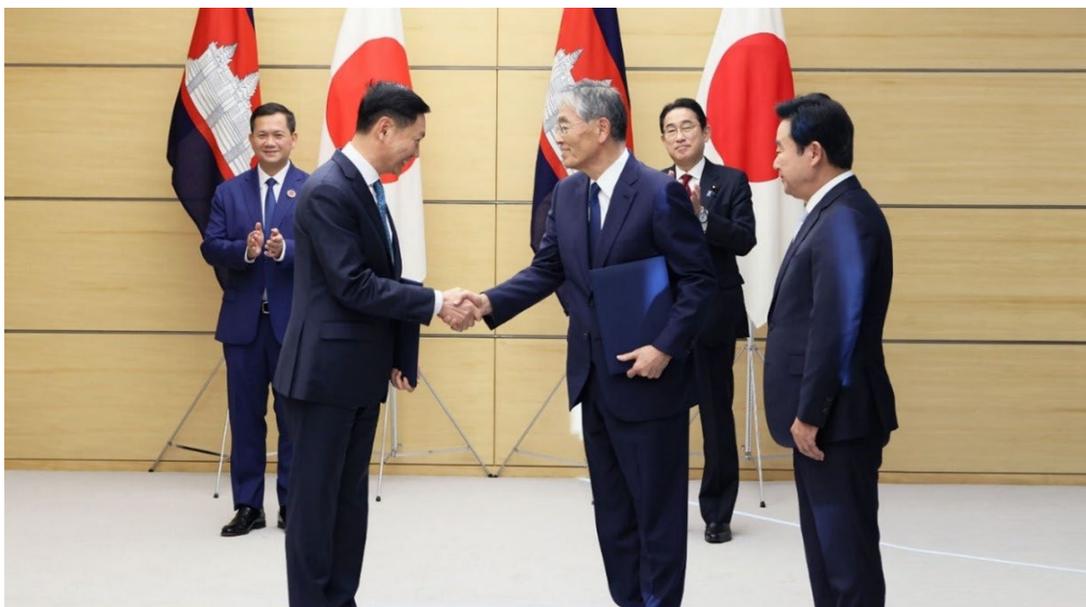


完成予想図



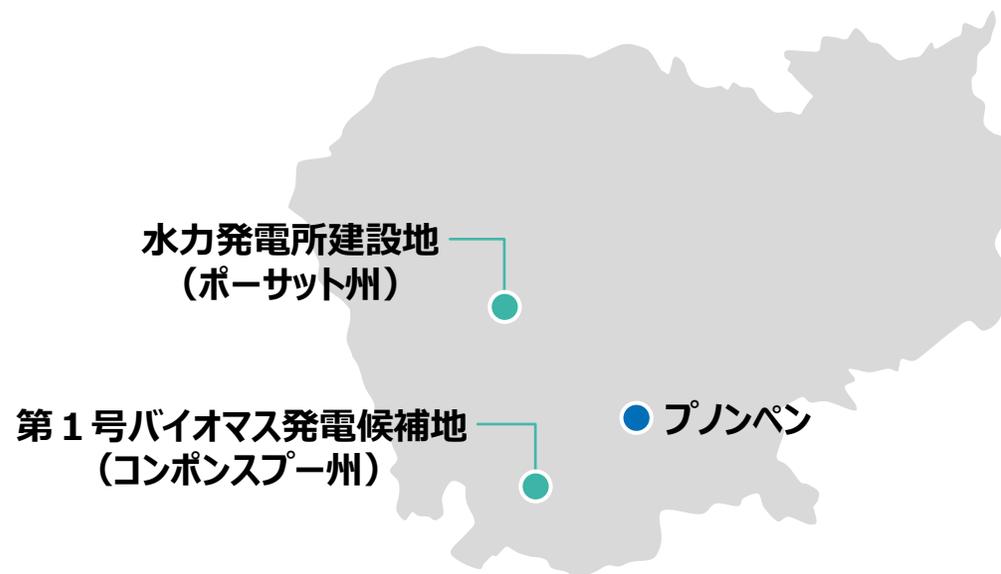
02 バイオマス発電

- バイオマス発電（50MW）の開発を検討中
- 2024年9月に23のクリーンエネルギープロジェクト案件の一つとしてカンボジアの閣僚会議で承認
- 植林によりバイオマス燃料を賄い25年間にわたり発電事業を実施予定
- 早期着工に向け現地パートナーとJVを設立し、2027年度中に運転開始予定



カンボジア王国鉱業エネルギー省ラタナック大臣との
バイオマス事業に関する覚書交換式（2023年12月）

カンボジア発電事業MAP



(億円)

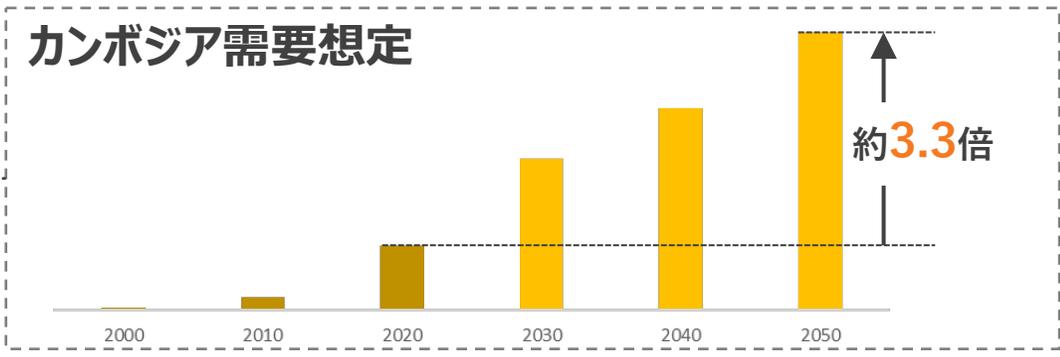
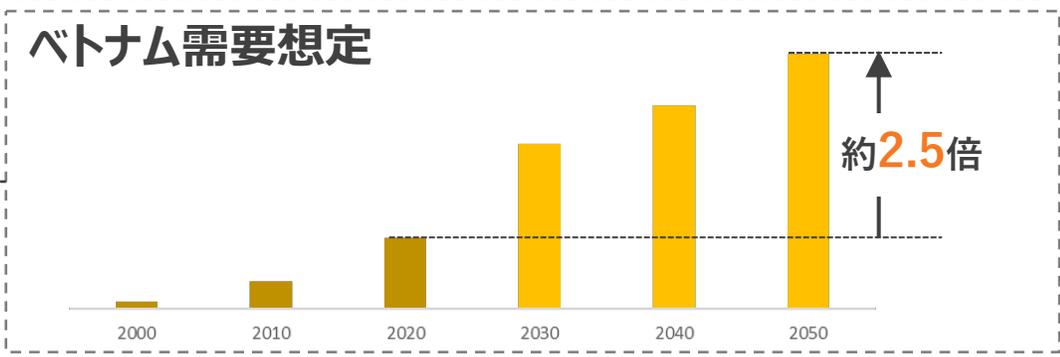
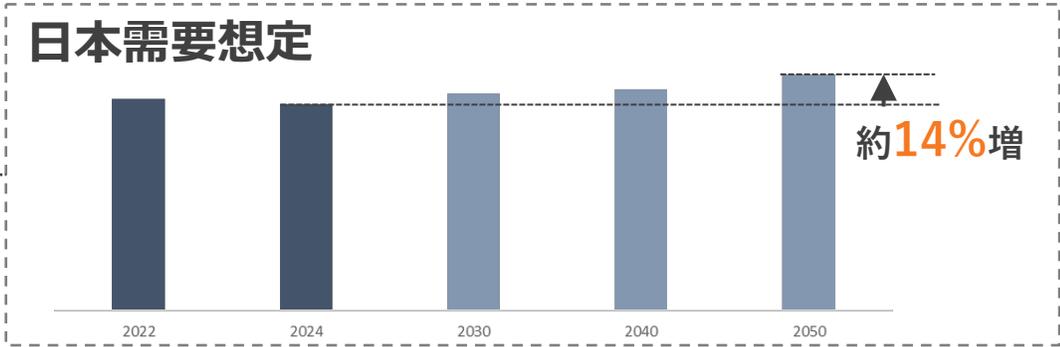
	2024年度 (実績)	2025年度 (計画)	対前年増減額
売上高	1,712	1,761	49
営業利益	71	86	14
税引前利益	63	75	11
当期利益※	21	34	13

A horizontal teal banner with white Japanese text. The text reads '中長期の成長戦略' (Medium to Long-term Growth Strategy).

中長期の成長戦略



日本よりもベトナム・カンボジアの電力需要は旺盛



段階的な需要増に対する
供給力確保は急務



持続可能な社会の実現
に向けて、環境価値の
追求が不可欠

新たな電力需要と国内外再エネ価値提供

第7次エネルギー基本計画(供給力見通し)

再エネ：23% ▶ 40%+ 最大活用

原子力：9% ▶ 20%+ 持続的活用

化石：69% ▶ 30% 課題あり

安定供給と脱炭素への不安

2013

人口減少・節電の進展

2035

データセンター・半導体の新増設
による需要急増

シナリオ2

需要微増

シナリオ1

脱炭素対応への必要性

国内

調整力の提供
供給力の確保

アグリゲーション
蓄電池事業
CPPA営業

海外

東南アジア
市場拡大

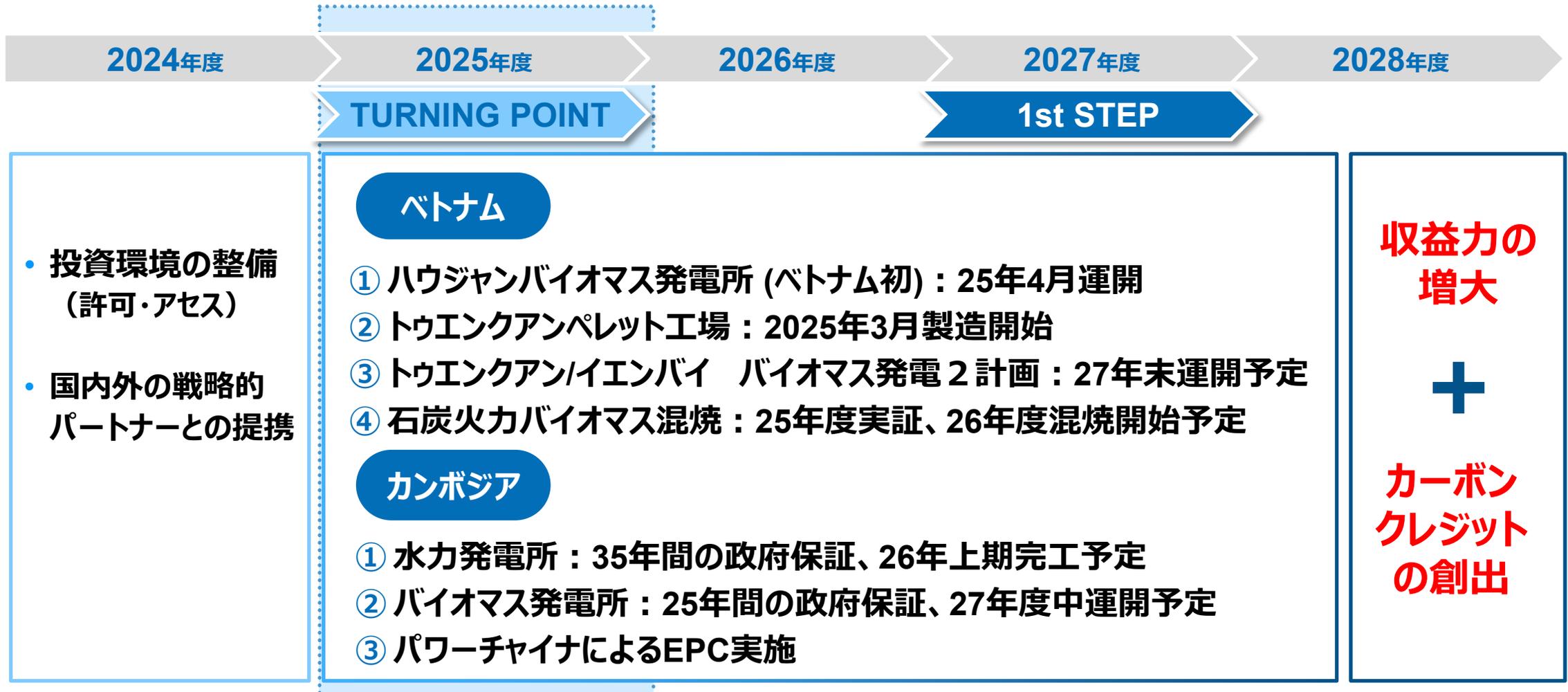
海外事業の環境価値
カーボンクレジット
の国内活用

1
小売戦略

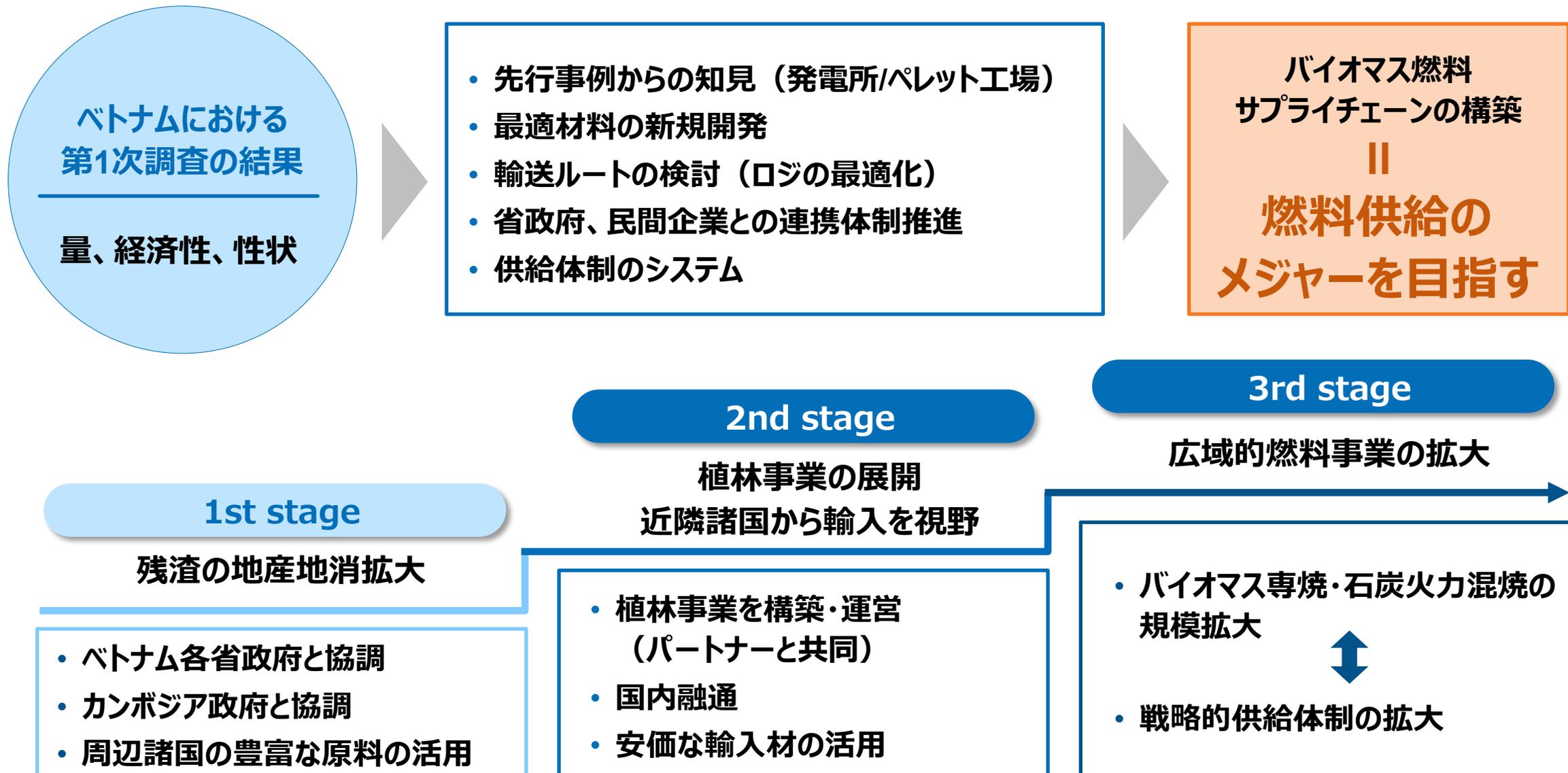
2
海外戦略



脱炭素支援における先行事業者へ



旺盛な電力需要への安定供給と脱炭素へのソリューション提供



脱炭素実現のために、世界各国はカーボンプライシングの取り組みに注力

ベトナムにおける
カーボンプレジット

2025年6月中を目途にベトナム政府は制度を整備中

2029年のベトナム カーボンプレジット・ETS市場本格化に向け、
ベトナム政府と当社によるタスクフォース設立予定

世界銀行レポート

2030年の気温上昇を、産業革命以前に比べて抑制するために必要な炭素価格

当社はクレジット価格を **60ドル / t-CO₂** で想定
(6/13付EU-ETS排出枠価格：約86ドル/t-CO₂)

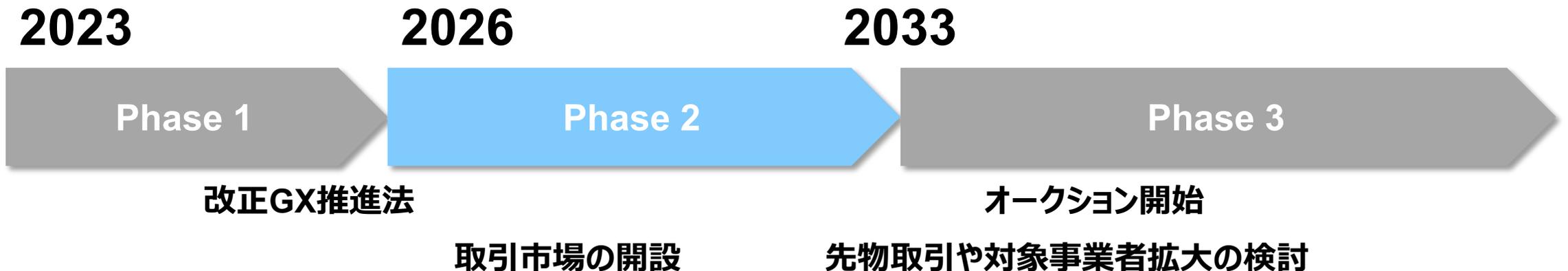


海外で獲得するカーボンプレジットを有効活用し、日本国内の脱炭素に貢献

GX-ETSで活用可能なJCMクレジットへの需要が見込まれる

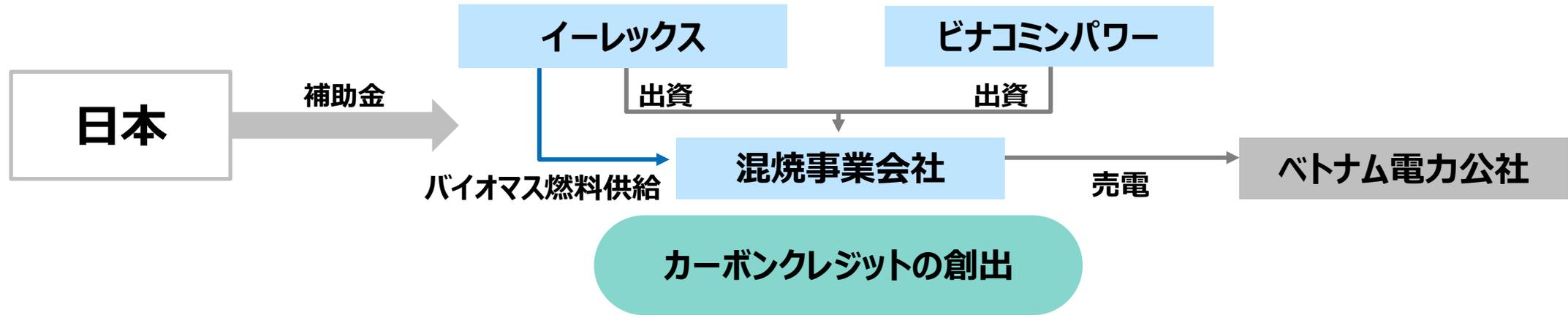
日本における排出量取引制度（GX-ETS）の導入

- GX-ETSは2026年より第2フェーズとして本格稼働。
- 対象事業者数は300-400社で日本全体のGHG排出量の60%近くをカバーする見込み。
- 適格クレジットとしてJ-クレジット、JCMが利用可能。
- 2033年には第3フェーズとしてオークションを導入予定。より一層の炭素市場活況が想像される。



カーボンプレジット創出および燃料販売による収益最大化を目指す

- 2026年度からベトナム政府の要請により石炭火力発電所において 20～30%のバイオマス混焼開始
- 令和7年度「資源国脱炭素化・エネルギー転換技術等支援事業費補助金」に採択。設備改造に活用を検討



2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
混焼試験	改造工事	燃料販売・クレジット創出			

ベトナム事業 1 地点 (50MW) あたりの収益構造

売電収益に加えて、環境価値による収益改善が期待されるため、バイオマス発電事業 (50MW) は、6.5~12MMUSD/基・年 の利益見通し

総事業費：100~120

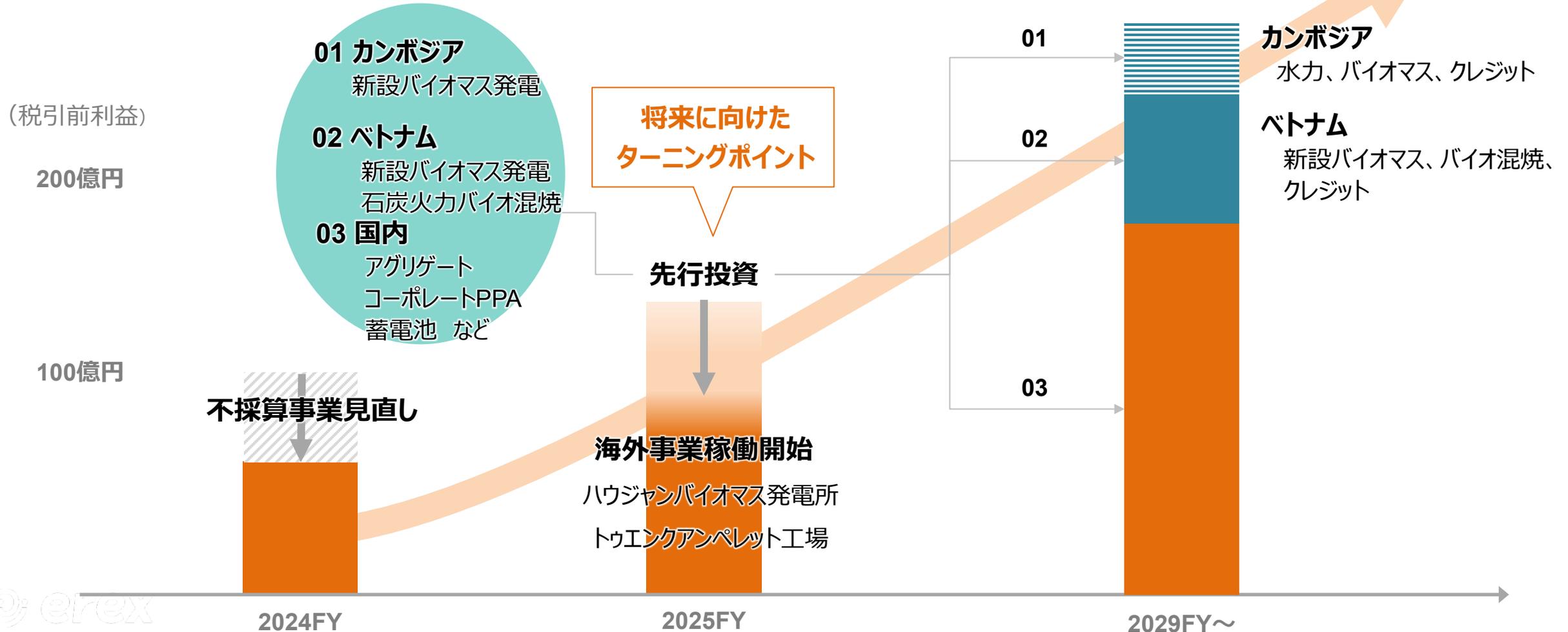
売上：36.5~42.0/年

単位：MMUSD



国内外の再エネ事業への積極投資により収益を拡大

300+ α 億円





イーレックス株式会社

第27期 定時株主総会

2025年6月24日



The title '決議事項' is written in large, bold, white Chinese characters on a teal horizontal band. The background of the slide includes a 3D Earth on the left and a grey map of Southeast Asia on the right.

The background consists of a 3D rendering of the Earth on the left side, showing the Pacific Ocean and parts of Asia and Australia. On the right side, there is a light gray silhouette map of Southeast Asia and the Indonesian archipelago. A horizontal teal bar spans across the middle of the image, containing the main title text.

第1号議案 剰余金処分の件

The background consists of a 3D rendering of the Earth on the left side, showing the Pacific Ocean and parts of Asia and Australia. On the right side, there is a light gray silhouette map of the Asia-Pacific region. A horizontal teal banner is overlaid across the center of the image, containing the main text.

第2号議案 取締役8名選任の件

A horizontal teal banner with a gradient from dark to light teal, containing the text '質疑応答' in white.

質疑応答



The background consists of a 3D rendering of the Earth on the left side, showing the Pacific Ocean and parts of Asia and Australia. On the right side, there is a light gray silhouette map of the Southeast Asian region, including countries like Thailand, Vietnam, Laos, Cambodia, and the Philippines. A horizontal teal band is overlaid across the center of the image, containing the main title text.

第1号議案 剰余金処分の件

The background consists of a 3D rendering of the Earth on the left side, showing the Americas and the Pacific Ocean. On the right side, there is a light gray silhouette map of the Asia-Pacific region, including Japan, Korea, and Southeast Asia. A horizontal teal banner is overlaid across the center of the image.

第2号議案 取締役8名選任の件